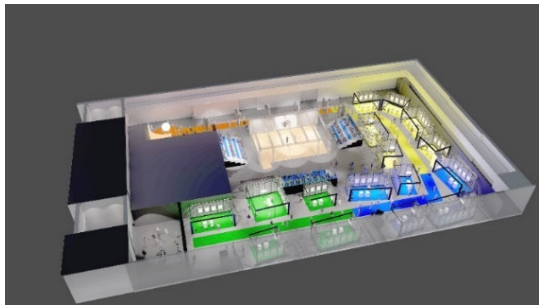
大阪・関西万博「Sports Future Lab ～スポーツがつくる未来～」 概要

資料６

■期間　　：2025年9月3日（水）～8日（月）
■開場時間：10:00～20:30 （最終日は18時閉館）
■実施会場：2025年日本国際博覧会　EXPOメッセ「WASSE」
■来場者数：延べ76,866人



◆開催コンセプト

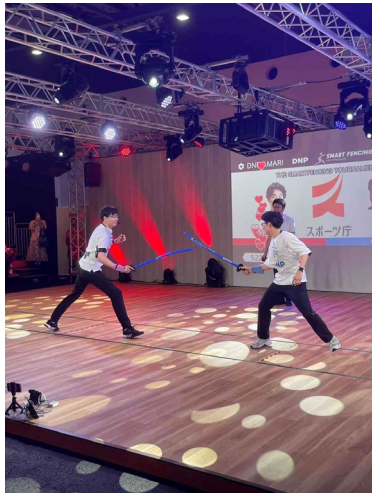
大阪・関西万博のテーマである「未来社会の実験場」という“先進性”の要素と、来場者にスポーツ庁が目指す社会の一端を知っていただく“新たな発見”を提供すること。

◆催事の概要

「スポーツを通じた共生社会」「スポーツを通じた健康長寿社会」「スポーツで活性する経済・社会」という３つのテーマを設けて、スポーツに関わる好事例や先端の技術を活用した、新しい「する」「みる」「ささえる」スポーツ体験を発信。

■オープニングセレモニー

■ブース・ステージの様子



大阪・関西万博「Sports Future Lab ～スポーツがつくる未来～」

スポーツ庁 10th ANNIVERSARY JAPAN SPORTS AGENCY

【スポーツ庁健康スポーツ課の出展イベント】

（１）ステージイベント

○The スマートフェンシング®トーナメント

・日時：令和７年９月６日（土）13:30～14:30
・出席者：室伏広治スポーツ庁長官、五輪メダリスト　他
・概要：筑波大学が開発したプレイヤーの心拍を感じ取る「バイオシェア」技術を活用し、オリンピック金メダリスト・宇山賢選手と創るスマートフェンシング®大会を実施。選手の心拍を観客にリアルタイムで共有し、来場者全体が一体となる心のシンクロ体験を提供。

○スポーツ×宇宙 ～人類の新たな可能性について～

・日時：令和７年９月６日（土）16:00～17:00
・出席者：室伏広治スポーツ庁長官、JAXA宇宙飛行士、アスリート　他
・概要：スポーツと宇宙の連携の可能性等についてトークセッションを実施したほか、室伏長官考案、大西宇宙飛行士もISSで実演した紙風船エクササイズを体験。

（２）ブースイベント

○ SYNC HEARTS－スポーツがもたらす共鳴のカタチ

・概要：筑波大学松井准教授、蜂須助教、Hassan助教、早稲田大学森戸助教らと連携し、茶室という空間の中で、「心拍」を通じて他者と共鳴する技術を用いた特別プログラムを提供。

The スマートフェンシング®トーナメント（ステージイベント）

日　時　：　9月6日（土）13:30～14:30頃

会　場　：　EXPOメッセ「WASSE」内ステージ　**来場者数**　：200名

登壇者　：①室伏　広　治　　氏（スポーツ庁 長官）
②宇山　賢　　氏（オリンピックフェンシング 金メダリスト）
③松井　崇　　氏（筑波大学体育系 准教授）
④Modar Hassan氏（筑波大学システム情報系 助教）
⑤蜂須　拓　　氏（筑波大学システム情報系　助教）※会場内で技術提供

概　要　：筑波大学のプレイヤーの心拍を感じ取る「バイオシェア」技術を活用し、オリンピック金メダリスト・宇山賢選手と創るスマートフェンシング®大会を実施。選手の心拍を観客にリアルタイムで共有し、来場者全体が一体となる心のシンクロ体験を提供。

プログラム：

●身体診断「セルフチェック」及び改善エクササイズ実施

室伏長官とともに、首の可動性の「セルフチェック」及び改善エクササイズを実施。

●バイオシェア技術の紹介

筑波大学より、選手の心拍を感じることができるバイオシェア技術について解説。

●スマートフェンシング®トーナメント

公募で募った対戦者らによる試合後、勝者は宇山氏と対戦。

対戦中、来場者はバイオシェア技術を搭載したデバイスを装着し、選手の鼓動を感じた。

宇山氏と元日本代表の二ノ宮氏との特別対戦も、同様にバイオシェアにより観戦。

（※）スマートフェンシング®は、DNP大日本印刷の登録商標であり、柔らかい剣とスマホアプリを使って誰でも・安全&本格的にフェンシング競技を楽しめるツール。

▲室伏長官とともに、早稲田大学の森戸先生らの協力も得て、首の可動性に関するセルフチェック及び改善エクササイズを観客と実施。

▲筑波大学の松井先生とHassan先生より、選手の心拍を感じることができるバイオシェア技術について解説。

▼スマートフェンシング®の試合の様子

▼選手の鼓動の速さに応じて、デバイスが振動すると同時に点滅する

スポーツ×宇宙　～人類の新たな可能性について～

日　時　：　９月６日（土）16:00～17:00頃
会　場　：　EXPOメッセ「WASSE」内ステージ　**来場者数**　：200名
登壇者　：①室伏　広　治　氏（スポーツ庁 長官）
②金井　宣　茂　氏（JAXA 宇宙飛行士）
③中野　優理香 氏（JAXA フライトディレクタ）
④木村　敬　一　氏（パラリンピック水泳 金メダリスト）
⑤宇山　賢　　氏（オリンピックフェンシング 金メダリスト）
⑥金岡　恒　治　氏（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）
⑦松井　崇　　氏（筑波大学体育系 准教授）
概　要　：スポーツと宇宙の連携の可能性等についてトークセッションを実施し、室伏長官考案、大西宇宙飛行士もISSで実演した紙風船エクササイズを来場者とともに体験。

プログラム：

●室伏長官 講演
スポーツ庁の取り組み、一器多様の考え方、スポーツと宇宙の連携の趣旨　など

●トークセッション①
極限状態における人間の進化や適応能力　　など

●紙風船エクササイズの体験
室伏長官考案、大西宇宙飛行士もISSで実演した紙風船エクササイズ体験

●JAXA登壇者 取組紹介
宇宙飛行士のミッションやトレーニング、フライトディレクターとの連携事例　　など

●トークセッション②
スポーツと宇宙の連携の可能性や今後の期待　など

文部科学省の増子事務次官より挨拶。宇宙とスポーツの連携による新たな取組への期待を述べた。

室伏長官より、「一器多様」の考え方、人間の適応能力、宇宙とスポーツの連携の趣旨等について講演した。

大西宇宙飛行士がISSで実施した紙風船エクササイズの様子を動画で投影。その後、宇山氏の指揮により、参加者全員で紙風船エクササイズを体験した。

金井宇宙飛行士から、ISS滞在中のミッションやトレーニングについて、中野フライトディレクタから、宇宙飛行士とフライトディレクタの連携業務やミッションについて紹介した。

SYNC HEARTS－スポーツがもたらす共鳴のカタチ（ブースイベント）

期　間　：９月３日（水）～８日（月）10:00～20:30　（最終日は18時閉館）

会　場　：　EXPOメッセ「WASSE」内ブース　　来場者数　：のべ1,428名

概　要　：「Sport in Life」が目指す社会は、スポーツが人々の心をつなぎ、暮らしの中に自然と根づく社会。本ブースでは、筑波大学の松井准教授、蜂須助教、Hassan助教、早稲田大学森戸助教らと連携し、茶室の中で、「心拍」を通じて他者と共鳴する技術を用いた特別プログラムを提供。

①　心拍同調体験

体験内容

２名～最大５名を茶室型のブースに案内

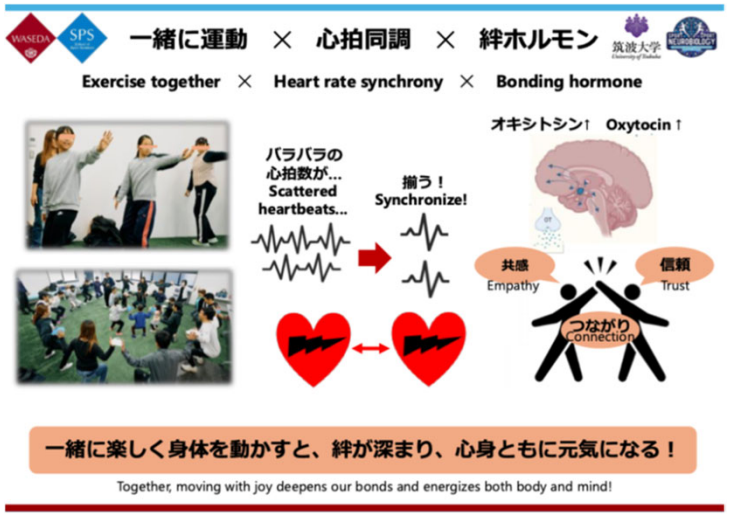
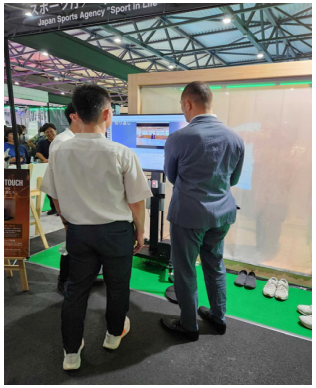
心拍測定デバイスを装着し、メンバーの心拍同調の程度を映像で茶室の窓に投影し可視化

②　セルフチェック、紙風船エクササイズ体験

啓発内容

身体診断「セルフチェック」や紙風船エクササイズを織り交ぜて体験に入れ啓発

体験内容

①セルフチェック
②改善エクササイズ
③紙風船エクササイズ　など

DAY	日	曜日	体験者数
DAY1	9月3日	（水）	280
DAY2	9月4日	（木）	286
DAY3	9月5日	（金）	228
DAY4	9月6日	（土）	158
DAY5	9月7日	（日）	255
DAY6	9月8日	（月）	221
	Total		**1428**